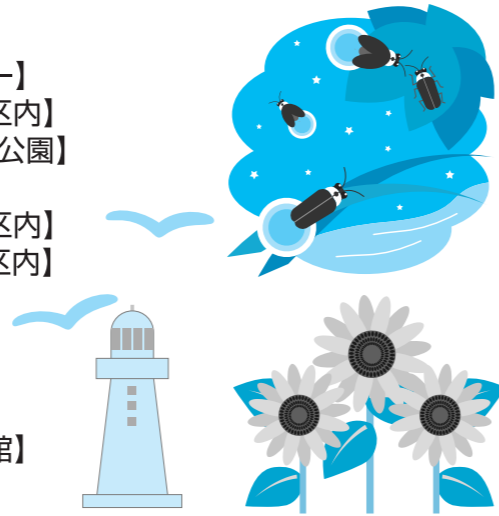


行/事/予/定

7月~9月

- 7月17日(金) 大歳小学校・鴻南中学校1学期終業式
- 7月21日(火) おおとし防災の日
- 7月25日(土) 第29回おおとし夏まつり【大歳地域交流センター】
- 8月 1日(土) 大歳地区青少協 夜間安全パトロール【大歳地区内】
- 8月 8日(土) 第5回大歳地区グランドゴルフ大会【榎野川運動公園】
- 8月 8日(土) やまぐち車座トーク21【大歳地域交流センター】
- 8月 8日(土) 大歳地区青少協 夜間安全パトロール【大歳地区内】
- 8月22日(土) 大歳地区青少協 夜間安全パトロール【大歳地区内】
- 9月 5日(土) 鴻南中学校 体育祭【鴻南中学校】
- 9月 6日(日) 山口市市民体育大会【維新公園陸上競技場ほか】
- 9月13日(日) 交流列車おおとしまつり【交流列車おおとし】
- 9月19日(土) 大歳地区敬老祝賀会【県総合保健会館】
- 9月25日(金) 高齢ドライバー1日ドック【山口県交通安全学習館】
- 9月26日(土)~27日(日) キッズフェスティバル【大歳小学校】



おおとしかわの 情報

Information

■今年もおおとし夏まつりを開催します

実行委員長の宮成宣継さんに今年の抱負をお聞きしました。

Q:実行委員長を引き受けられた動機、また引き受けられて何年ぐらいになりますか?

A:大歳生まれの大歳育ちなので、役に立てばと思い、引き受けました。もう15回ぐらいになります。

Q:29回目を迎える夏まつりですが、今年の意気込みと目玉は?

A:昨年は台風で残念ながら、中止になり、今年も小学校が工事中で例年にくらべ縮小開催になりますが、今回初の試みとなる会場への「シャトルバス」を運行しますので、是非ご利用ください。

夏まつり、秋の大歳まつり共に、地域の大きなイベントとして根付いています。今後もより多くの人に携わって頂いて、大歳地域の振興につなげる行事として盛り上げていきたいです。

Q:最後に一言お願いします。

A:このお祭りはボランティアの人をはじめ、地域住民が力を合わせて企画・運営しています。実行委員はもちろん来場者の皆さんもお祭りを盛り上げていただく大切な仲間です。会場に足を運んで頂き、素晴らしい「お祭り」にしていきましょう。よろしくお願いします。



プロフィール  
昭和50年生まれ  
今年の前厄  
平成10年から朝田神社の神主  
お子さんは3姉妹  
趣味はフットサル



一昨年のおおとし夏まつりの様子

■第6回三世代交流グラウンドゴルフ大会を開催

日時 8月8日(土)午前9時~11時00分  
集合時間は8時30分

場所 榎野川運動公園(石津橋を渡って右側)

参加対象 小学4年生以上のどなたでも参加出来ます。

申し込み方法 7月31日までに氏名、自治会名、年齢、連絡先を大歳自治振興会(☎920-1700)へ連絡して下さい。

持参するもの 外で運動できる服装  
帽子/タオル/飲み物

参加者を募集!!  
ひとりでも参加可能

\*1 道具のない方は主催者で用意します。

\*2 ルールは当日大歳老人クラブの皆さんが教えてくれます。多くの皆様の参加をお待ちしております。

編集後記

河内馬庭の川で、親子で見るホタル鑑賞会があり撮影に行きました。(2ページに掲載)夕方からカメラ片手に待っていましたが、その気配も全くなく不安に思っていると、陽が完全に暮れ、あちこちでふわりふわりと小さな光を放ったホタルの舞いを見ることができました。とても幻想的でこの大歳にこんなところがあるのだと感動を覚えました。何故か野坂昭如の「火垂るの墓」を思い出し、誰かの魂が飛んでいるのかなとも思いました。(内田)

まちづくり おおとし かわら版 2015.7 Vol.34

特集 おおとし防災の日

平成21年の災害について 体験者に聞きました



木崎梢さん(岩富)

「6年前のことながら、忘れることはできません。当日は、亡き夫の納骨日で朝から雨が降りつづいていましたが、これで梅雨があがるだろうと思いながら、納骨の準備をしていました。どのくらい過ぎたか、ふと気になって窓から外を見たら、道路の向かいの家が水に浮いたように見え、プロパンのガス管も水に浮いていたのでたまげました。それからすぐに

少し高台にある私の家の玄関にも水が流れ込んできて、部屋の中に水があふれて畳が浮き上がったりしてどうにもならなくなりました。ちょうどそのとき家の外でマイクで呼ぶ声がしたので、窓から見るとボートで消防署の人が助けに来てくれていました。道路の水は肩の辺りまで溢れていて年寄り一人では逃げることはできませんでしたので思わず手を合わせました。」と当時を思い出して語られました。

平成27年水害時の岩富地区



今年も防災体験と防災クイズに挑戦! 6月13日(土)参加70人!

6月13日(土)、大歳地域交流センターにおいて、約70人の参加で、「7.21おおとし防災の日イベント」が開催されました。

当日は、梅雨入りしたとは思えぬ好天に恵まれ、参加いただいた皆さんは、すこし汗ばみながら、土のうを作ったり、消防車からの放水をしたり、さらには防災クイズに挑戦し、体も頭も使って、災害時の活動を感じていただきました。

こうした体験を通して、少しずつ、地域全体の

防災力の向上に努めていきたいと考えています。

また、この日は、市防災危機管理課の担当者が、今年運用が開始される「防災行政無線」について、どのようなとき、どのようなアナウンスがされるかなど説明されました。こうした設備が整備され、運用が始まると、地域に安心感が生まれるとともに、地域の防災力が着実に向上します。

大歳地域の防災力向上に向け、多くの皆様の協力をお願いします。



土のう作り

初期消火訓練

消防機庫探検

防災クイズに挑戦

交流センター裏に設置されたサイレン



消防車放水体験



AED操作訓練

7月21日は おおとし 防災の日

日頃から防災意識を持つように皆で心掛けましょう!

忘れないで!

# 自分たちの地域は自分たちで守ろう!

## 湯田温泉駅周辺の夜間パトロールを行っています。

湯田温泉駅周辺のパトロールがはじまったのは、昨年の10月ごろからです。それまで湯田温泉駅の足湯・井上公園の足湯・大学通りのコンビニ辺りには、心ない若者たちがたむろし、安心して「足湯」にも入れない状態が続いていました。この状態を放置してはおけないと「NPO法人湯田温泉賑甦会」が発起人となり、パトロールが始まりました。パトロールは、NPO法人湯田温泉賑甦会をはじめ近隣の自治会長・安心安全部会・山口市役所・JR西日本・山口警察署等の関係機関・団体の方々によって実施され(毎月2回、夜9:00

～)今年5月末まで延べ、15回、238名の方々が参加されています。このパトロールのおかげで不良徒の参集もなくなり、この地域は元の静けさを取りもどしてきています。このことは、上記関係機関・団体の協力・努力のおかげであり、特筆すべきことだと思います。参加者の皆さんは、これから、夏休みを迎えることもあり、更に気を引き締めてパトロールを行っていくとのことでした。

パトロールしながらゴミも拾います



湯田温泉駅「ゆうた」の前で



湯田温泉駅前通り



今井町のコンビニ前

## ホタル鑑賞の夕べ

親子で楽しんだ幻想の世界

6月6日子供部会主催でホタル鑑賞の夕べを開催しました。大歳交流センター集合後、車に分乗して朝田に。用意された駐車場に車をとめて、朝田川をさかのぼって朝田川に河内川が合流する地点一帯がホタルが最も多い地域です。

人家が少なく明かりもまばらな暗闇の中にホタルの光がふわふわと点滅する様はまさに幻想の世界で、「きれい!」と子どもも大人も嘆息をあげていました。多くの方のご協力で今年も十分に楽しんでいただけたと思います。

ただ、ホタルが年々減少傾向にあり、何らかの手を打たないと関係者は心配しています。



手にホタルが!



多くの親子づれで賑わいました

## 「やまぐち車座トーク21」を開催

今年も「やまぐち車座トーク21(移動市長室)」が大歳地域交流センターで開催されます。

開催日時は、8月8日(土)、15時からとなっています。

内容は、昨年同様、市長さんをお招きし、大歳地域での高齢化の進展に伴う課題について、大歳自治振興会と意見交換を行うこととしています。

さらに、今年は、一般の皆様にもお席を用意しており、さまざまな地域の課題について活発な意見交換ができる場としています。

興味のある方は、ぜひご参加ください。

## 大歳自治振興会【平成27年度の主な事業内容・予算】

### ■地域振興分野 (予算額: 1,805,000円)

- ・地域情報の収集と発信 (かわら版の発行やホームページの充実)
- ・あいさつ運動の推進 (鴻南中学校区協育ネットのあいさつ&見守りカレンダー作成支援やのぼりの購入)
- ・交通弱者に対する検討 (コミュニティタクシー導入について検討、視察)

### ■地域福祉分野 (予算額: 520,000円)

- ・高齢者支援体制の充実 (見守り活動やグッズの配布)
- ・子育て支援の充実 (親子参加イベントの実施や缶バッジ配布)
- ・子ども会活動の活性化 (子ども会立ち上げ支援)



### ■環境づくり (予算額: 2,180,000円)

- ・環境美化活動の推進 (不法投棄防止活動の実施)
- ・法定外公共物等の整備

### ■その他事務経費 (予算額: 4,149,000円)

### ■安心・安全分野 (予算額: 1,052,000円)

- ・生活安全(防犯)対策の充実 (わんわんパトロールや防犯パトロールの実施、防犯灯設置助成)
- ・交通安全対策の充実 (交通安全教室支援や高齢ドライバー1日ドックの実施など)
- ・見守り体制の充実 (見守り活動の情報発信)
- ・災害安全対策の充実 (防災用具購入助成や「7.21おとし防災の日」イベント実施)

### ■地域個性創出分野 (予算額: 2,585,000円)

- ・自治会内の交流促進 (1自治会1事業や一斉清掃実施助成)
- ・地域内の交流促進 (3世代交流事業、キッズフェスティバル等の実施)
- ・住民総参加による地域の活性化 (おとし夏まつり、大歳まつりの実施)
- ・ふるさと大歳の伝承 (歴史探訪ウォーキング実施)
- ・花いっぱいの大歳づくり (花づくり講習会や花壇コンクールの実施)
- ・交流列車おとし(大歳駅)の活用 (イベントの開催や啓発看板設置)

## 大歳歴史の散歩道 Vol.12

## しらべの森はしらめの森? その2

大内輝弘の反乱の際、鴻峯城支援に駆けつけた吉見氏の軍が宮野で敗退したのは、仁保氏が「見ぬ振りをした」ためと書かれています。由緒ある仁保氏の中心人物吉田興種は息子隆在が仁保棟梁家を継いだものの若死にしたため、吉川元春の息子元棟が婿養子に入ることには不満を感じていました。そこに起きた輝弘の乱。興種の動揺が目に見えるようです。元棟の後見役である江田宮内輔は、興種の裏切りを言い立てて、仁保一族を説得し、輝弘

軍の山口退去直後に興種を討ち取ります。仁保家の実権をめぐるお家騒動の感がありますが、元就はこれを果敢な措置と褒め、ついで不届きな大内浪人どもの絶滅を宣言します。

名家であろうと躊躇は裏切りとみなす、大内浪人の誇りをもち続けることは許さぬという強硬策への転換が始まりました。仁保氏はやがて三浦氏と名を変え、仁保を離れます。吉田氏は滅ぼされ、平川の吉田から姿を消します。大内浪人の帰農

もすすみ、地域から大内色が消されいったのです。

調べの森は、その政策転換の象徴で、乱に加担した者を探し出しては糾問する場、大内浪人の誇りを奪う場だったと考えられます。天保期の風土注進案には「訛りて、しらめの森と言う」と書かれています。しらめ(白目)を剥かせる厳しい詮議への恐怖を込めた地口だったのかもしれない。



攻防の舞台となった鴻峯城の碑(山口大神宮の裏山)